

アムス校友会通信

発行：アムス柔道整復師養成学院 校友会

Vol. **9**
2013. 8

目次

ご挨拶……………	1	各委員会平成25年度活動案報告・イベント報告…………	4
秋のイベント告知……………	1	新入役員インタビュー……………	5
総会・交流会報告……………	2	常勤講師インタビュー Part2……………	6・7
平成24年度決算・平成25年度予算報告……………	3	アムス柔整学院の今……………	8

ご挨拶

今回で広報誌発行も9回目を迎えました。今まで学院に頼りきっていたところもある広報誌でしたが、これからは我々 OBが頑張って発行していかなければなりません。その第一歩として、今回は私たちだけの手で作り上げました。記事作成も然ることながら業者の方とも打ち合わせをして、何度も構成を見直し、ようやく皆さんのお手元に届くこととなりました。広報誌以外でもイベントの企画やその実行に至るまでには、校友会役員をはじめ様々な方の協力があって初めて成り立ちます。私は今回、肌でそのことの大変さ、協力して下さった方への感謝の気持ちを改めて感じる事ができました。学院が無くなる事ばかり気を取られそうになりますが、学院は無くなっても私たちが学院で教わったことに変わりはなく、私たちOB、これからOBになる12期生の皆さんが共に手を取り合い、互いに努力し、時には校友会活動に参加し顔を合わせることで絆や繋がりは風化してしまうことなく永遠のものとなるのではないのでしょうか。その機会をぜひ逃さないようにイベント情報やブログをチェックして、どんどんご参加ください。皆さんとお会いできることを心より楽しみにしております。

広報委員長 岡村優輝

10月6日秋のイベント開催！



ボーリング大会と臨時総会・懇親会を開催いたします！
学院閉校前の貴重なイベントになります！
皆さんご参加下さい！

●日時 **10月6日(日曜日)**
ボーリング大会 午後3時～
臨時総会&懇親会 午後5時～ を予定！

詳細は別紙参照下さい！

総会報告

前日6月29日は、夜7時を過ぎたころから役員の先生方が続々と準備に駆けつけてくださいました。総会後の交流会に出す食事の準備がこの日のメインイベントです！臨時厨房と化した8階の会議室での準備は、校友会役員にとっては前夜祭のようなもので意外に？楽しいんです！少しずつ出来上がってくる料理のにおいはたまりません！なんせ役員全員晩ご飯我慢して作っていますから。。特にシチューは強烈でした。役員のみなさんご苦労様でした。



30日当日は来てくださった人数が去年より少なく、閑散とした雰囲気がありました。学院が閉校するというこの意味を私はこの時実感しました。

冒頭、葉室代表理事、國分学院長からご挨拶いただき、閉校までの残りの期間も在校生の勉学を全力でサポートする意気込みを聞かせていただきました。

続いて再選された山協会長からご挨拶があり、アムスOBの先生方のこれからの校友会活動へのお力添えを嘆願されておられました。そして、企画委員会・広報委員会からは「平成24年度活動報告」、「平成25年度活動案」を、財務委員会からは「平成24年度決算」「平成25年度予算」を出席者の方々に報告させていただき、承認を受けました。承認いただいた内容は後のページにてご確認ください。
[広報委員長 6期生 岡村優輝]

交流会報告

毎回恒例の総会後の交流会も学院で開催されるのは最後と考えると感慨深く思っていました。1期生のアムスボディガード!?である植木先生の乾杯の音頭でスタートすると、懐かしい顔や知った顔ぶれと話が弾み、和気藹々とした雰囲気で進みました。昨年までは役員は肉を焼いたり、裏方にいることが多く、あまり交流会には参加できていなかったということもあり、今年は役員もずっと会場に居ることが出来るようにとビュッフェ形式で行いました。メニューは作れるものはできるだけ自分たちで作りました。唐揚げは当日に揚げるなど、なかなか力作だったと思います。お酒も回り始め赤ら顔の人が増えてきた頃、昨年に引き続きチーム対抗のクイズ大会がスタート、優勝チームには一人5000円のギフト券が懸かっていると知ると、少しみんなの顔つきも頭も切り替わり、初対面のチームメイトとも談笑しながら答えを出していました。今年は凝った問題が多く、柔整の問題では「肘を屈曲させる筋は？」と聞かれると学生に戻った気分になりながら現役の学生さんと確認をするなど、色々な話ができて大いに盛り上がりました。優勝チームにはギフト券が、最下位のチームには校友会プレートが渡され和やかに終わりを迎えました。

今回の交流会も無事に終わり、いろいろな先生と話ができて私としては大変有意義な時間を過ごせたと思います。



アムスでの残された時間は少ないですが、ここで生まれた交流は今後も継続できるものと思っています。私だけではなく、他の会員の先生方にとっても良い交流が生まれ、それが良い刺激になり各個人の成長につながればと思っています。次回は秋のイベントがありますので、より多くの方に参加していただければと思います。今後とも校友会をよろしくお願い致します。

[副会長 2期生 宮崎大介]

平成24年度決算・平成25年度予算報告

平成24年度収入

項目	予算	決算
校友会費収入	3,270,000	2,258,900
行事収入	163,000	237,500
コピープリペイドカード代	110,000	92,500
その他（銀行利子・協賛金等）	100,000	82,668
収入合計	3,643,000	2,671,568

平成24年度支出

項目	予算	決算
役員会議費等	250,000	237,471
行事イベント費	1,245,000	1,096,393
学術勉強会費	3,230,000	2,342,438
通信費	845,000	743,163
事務諸費	295,000	280,844
図書室コピー機カウンター費	120,000	131,298
図書室コピー機リース費	21,546	21,546
支出合計	6,006,546	4,853,153

平成24年度決算

項目	金額
前年度繰越額	10,848,383
平成24年度収支	▲2,181,585
平成24年度繰越額	8,666,798

ポイント

- 収入・支出ともに予算額より、100万円前後下回りました。最大の要因は予算策定時の段階と比べて勉強会の開催規模が小さくなり、予算と比較して、勉強会の収入・支出がともに100万円近く下回ったことがそのまま反映した形になっています。
- 学術勉強会は約2万円のプラスで終わることができました。一方再チャレンジ講座については約10万円のマイナスとなったため、全体でもマイナスとなっています。

平成25年度予算（収入）

項目	予算
勉強会収入	2,300,000
行事収入	1,140,000
コピープリペイドカード代	23,500
その他（銀行利子・協賛金等）	102,546
収入合計	3,566,046

平成25年度予算（支出）

項目	予算
役員会議費等	200,000
行事イベント費	2,450,530
学術勉強会費	2,300,000
通信費	856,800
事務諸費	235,000
図書室コピー機カウンター費	100,000
図書室コピー機リース費	21,546
支出合計	6,163,876

平成25年予算収支

項目	金額
前年度繰越額	8,666,798
平成25年度収支（予定）	▲2,597,830
平成25年度繰越額（予定）	6,068,968

ポイント

- 平成24年度実績と比較して、収入・支出ともに総額が増えています。この主な要因は閉校感謝パーティー開催のためです。開催規模から考えて、通常の互礼会と比較しても収入・支出ともに高額のお金が動く予想を反映して高額になっています。
- 通信費については、①委託している業者の封入作業料が値上げされること、②卒業生が増え、その分の郵送費も増えることから、昨年度予算より金額をアップしています。

企画委員会・広報委員会

平成 25 年度活動案

企画委員会

【活動方針】企画委員会では学院が存続している間、学院の協力も得ながらなるべく自主性をもち、出来るだけたくさんの会員の方が繋がっていけるような企画を催していきたいと考えています。

【イベント】

4月7日(日) 「春のイベント:フットサル大会」
6月30日(日) 「総会後 交流会」
10月6日(日) 「秋のイベント:ボーリング大会・懇親会」
平成26年3月23日(日) 「閉校感謝の集い(仮)」
(その他) サークル活動・期生別同窓会を検討中

【勉強会】

保険請求講座 講師 板垣先生
骨盤四季講座(夏・秋) 講師 奥平先生
ボディセラピスト入門講座 講師 奥平先生
経営の基礎知識講座 講師 金丸先生他
クラニアルワーク講座(基礎・応用) 講師 金谷先生

広報委員会

本年度をもって学院は閉校しますが、広報委員会では皆様に今後も変わらない情報の提供を心がけていきます。今後はブログを大いに活用しながら皆様にコミュニティを提供できないか現在模索しております。

- ①**広報誌制作の継続**…今年度は前年度に引き続き年2回の発行を行います。
- ②**ブログの継続**…今年度は学院最後の1年となりますので、残りの時間を有効的に活用しブログの活性化に努めます。
- ③**学院の掲示物、チラシの制作**…今年度は前年度に引き続き各掲示物の制作を行います。

イベント報告

アムス校友会第一回フットサル大会●

平成 25 年 4 月 7 日アムス校友会主催フットサル大会が行われました。小雨が降る中たくさんの人が集まってくださいました。初めは天気も悪くテンションの上らない皆さんでしたが、ゲームが始まると滑り込んで全身水びたしになる人や、気温の低い中たくさん汗をかいている人など、皆さん必死でフットサルを楽しんでいました。気がつくとも天気もよくなっていてみんな笑顔だけが人もなく無事終わることができました。

アムスが今年度で閉校となるので、今後フットサルなどで繋がりを残していけたらいいと思います。

Facebook のページで「アムス FC」というページがありますので、興味のある方は一度覗いてみてください。

[11 期生 中川亜耶]



勉強会報告●

学院閉校後の校友会運営に関する課題のうちの一つである「勉強」という部分について、学院常勤講師の高橋和司先生のお力をお借りして月一回卒業生有志にて勉強会を行っています。

学生だった頃を思い出して下さい……「関節裂隙ってこれで良いですか?」「MCL はどこ?」など…。学生さんの質問責めに、教員一人では目が行き届かないことが多々あります…。

そこで先輩方の力をお借りして、在校生の指導に一肌脱いでもらおう!と思い、始めた勉強会です。テーマは毎回異なりますが、学校や職場では教えてくれない基礎的な部分を皆で議論しながら講義を進めます。

今は主に 7 期生から 11 期生のメンバーで活動していますが、これからもっと繋がりが増え沢山のひと勉強出来たらいいな、と考えています。

実際に 6 月 22 日(土)の 3 年生の学内実習で卒業生・校友会でコラボレーションしました!写真はその準備・本番の様子です。



在校生の授業に卒業生が参加できて自分自身の勉強にもなるし、在校生のサポートもできるし、自画自賛になりますがなかなか素敵な企画だと思います。こういった勉強会が今後も続けることが出来るよう、頑張っていきたいと思います!

[10 期生 伊福玲子]

新入役員インタビュー！

校友会活動を支えてくださる新たな卒業生を紹介します！



(第11期生)
中川 亜耶さん

なぜ校友会役員になったのですか？

大好きなアムスがなくなることになって、どうにかして繋がりだけでも残しておきたいと思ったからです。

アムスに入学して良かったことは何ですか？

先輩方との繋がりも強く、卒業してからも校友会を通していろいろな先生方とお話できることです。

なぜ柔整師を目指したのですか？

中学生の時にスポーツトレーナーになりたいと思ったのがきっかけで父親に柔道整復師という道を教えてもらい、自分で柔道整復師について調べていったらすごく興味がわき目指すようになりました。

今後の柔整師としての目標をおしえてください！

しっかり治療のできる柔道整復師になることが目標です。自分が女性だからできることもたくさんあると思うし、メンタルケアなどでもできるようにしていきたいと思ってます。



(第10期生)
伊福 玲子さん

なぜ校友会役員になったのですか？

なんとなーく（笑）アムスが無くなるのが寂しく感じて、せっかくの縁が無くなるのは悲しいと思ったので

アムスに入学して良かったことは何ですか？

アットホームな先生方のおかげで無事卒業出来たことです

なぜ柔整師を目指したのですか？

遠回りしたけどやっぱりこの仕事が自分に一番合ってると感じたから

今後の柔整師としての目標をおしえてください！

仕事と子育てどういう風に両立すればいいのか模索中です(^^)／



柔整学院 常勤先生へのインタビュー Part 2

Vol.8では五代教務主任・芦澤先生・高橋先生からご回答いただいていたましたが、紙面の都合上、高橋先生への質問が途中までとなっていましたので、今回はその続きからスタートです。

そして、いよいよ教務の大御所！北田教務部長からの回答も掲載いたします。

質問

- ① 学院に初めて着任した時の印象を教えてください
- ② アムス教員生活で一番印象に残っているのは？
- ③ 授業を教えていく中で何が難しかったですか？
- ④ 授業で一番気を使ったところはどこでしょうか？
- ⑤ 授業を通じて学生たちに伝えたいことは何ですか？
- ⑥ 印象深かった学生にまつわる話を教えてください
- ⑦ 卒業生（11期生まで）に伝えたいことがありますか
- ⑧ 在校生（12期生）に伝えたいことがありますか

高橋 和司 先生(質問⑥から)

⑤ 『為せば成る、為さねば成らぬ、何事も』目標を掲げ、準備をし、万全を期して挑めば抜かり無し・・・ということを実感してもらいたかった。『絶対に成し遂げる！』と自分を信じてコツコツ進めば、大概の事は叶います。闘う前から泣き言ばかりで、何一つ努力しなければどうにもなりません。『勇気』と『根気』を持って、自分自身や目の前の壁を撃破して欲しい。



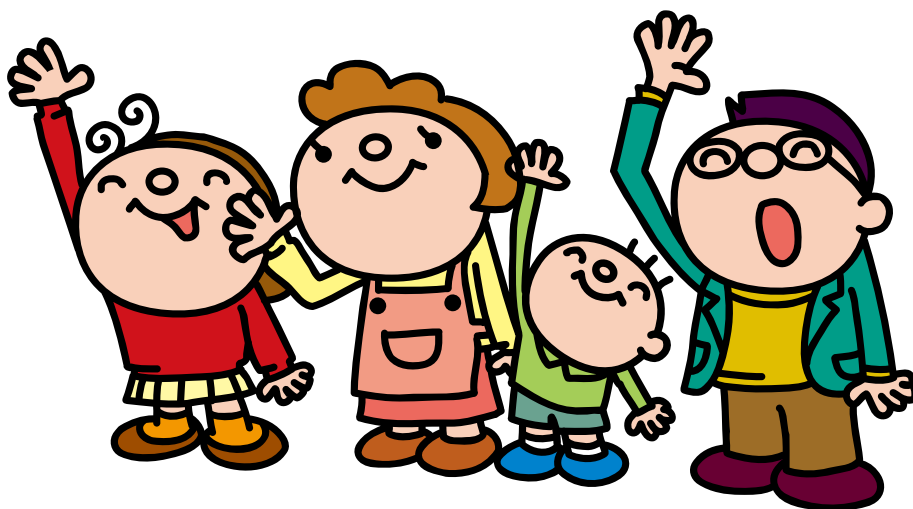
⑥ 9期生との絡みなのですが……軟損は通年教科なので、成績は前期と後期の合算で評価されます。夜間Cクラスでは、前期試験の成績が芳しく無かった学生さんが非常に多く、後期試験で何とか挽回させる為に『学習のお供』（その日の講義の要点を考えさせる為に考案）を毎回提出して頂きました。毎講義の“お題”に文章を構成して説明させるレポート形式で、キーワードの羅列～短文の作成～テニヲハ強化～作文と、添削を交えました『お供』に取り組んだ学生たちの多数が後期試験で90点台を量産してくれて…感動で採点する手が震えました。熱心に取り組んだエネルギーと頑張った学生さんたちの努力。整骨院内では味わえない貴重な体験でした。

⑦ 精神的な若年者が多かった学年だと感じています。世間の風当たりはとても厳しく、資格を取ったから一人前という訳ではありません。本当の勝負はこれからです！シッカリと自分の道を踏みしめて、堅実に歩いていきましょう！

⑧ アムス柔道整復師養成学院の最終学年です。 **全員合格** を目指し、感動のフィナーレを迎えましょう！ピシビシ行きますから、付いて来てください！！

北田 秀治 教務部長

- ① 整骨院経営の片手間と考えていた授業が、決まった教科と教科書に沿っての授業となって、大変苦労したことを思い出します。
- ② やはり授業に慣れない自分の至らなさに比べ、教育畑に育った先生の教育スタンスにリスペクトを感じざるを得ませんでした。
- ③ 新入生達の不安を解消し、学院生活への充実感を持ってもらいたいと努めましたが、仕事と学業の両立が困難な苦学生が多く、彼らの苦労を思うと涙することもありました。
- ④ 学生の皆さんとお互いに立場を尊重しながらの楽しく授業することを心がけました。
- ⑤ 「立派な」柔整師でなくとも、患者さんの立場に立った「親しまれる」柔整師になってもらいたいと、自分自身を通して伝えたかったです。
- ⑥ ある1期生（3年生時）が、地方から出てきて学生生活も日常生活も荒れていた状況だったので、個人的に話を聞きながら食事する機会をもちました。そのときに「こんなに親切にしてもらったことがない」と3年間に見せたことのない顔をしてくれました。
- ⑦ 3年間お疲れ様でした。でも、これからが柔整師としての始まりです。「努力」は決して裏切りません。日々ちょっとした努力の積み重ねが将来の自分につながります。負けるな！
- ⑧ 最後のアムス学院の生徒としてプライドを持って進んでください。素晴らしい皆さんの先輩がそれぞれ様々な活躍をしています。負けぬよう、努めてください。



アムス学院の今

このコーナーでは、卒業生の皆さんに普段お伝えできない学院の「今」についてご紹介したいと思います。

今回もアムス柔道整復師養成学院の近況をご報告したいと思います。最後の1年となる本年度も早4ヶ月が経過しました。最終学年(12期生)は38名と少数ですが、皆さん熱心に学業に打ち込んでくれています。しかし、さすがに38名となると学生さんの姿が疎らになり、毎回このコーナーで「少しずつ寂しくなった」と書いていますが、寂しさを感じる時が多くなってしまいます。

そのような中で、一度に20名前後の卒業生が学院に足を運んでくれる機会があります。常勤教員：高橋和司先生が発起人となって開催されている、卒業生有志の「勉強会」です。その内容は、在校生の学内実習の準備を兼ねつつ、卒業生自身も「自己の知識や患者さんへの施術を通じて得た内容を第三者に説明する」ことをテーマに、伝える力を高める勉強会となっています。参加した卒業生は「伝える」難しさを痛感しながらも奮闘し、有意義な勉強会となっているようです。校友会ブログにもその様子は掲載していますので、ぜひ御覧ください。

校友会でも勉強会が開催されていますが、多くの方に参加してもらえよう講座を準備するのはとても難しいことです。そんな中、多くの卒業生が有志で集まり勉強会を開催することはとても有意義な取り組みだと思います。この勉強会には校友会役員の方も参加していますので、この経験を次年度以降の校友会活動に活かしてもらえればと思います。

この広報誌が皆さんのお手元に届く頃、学院は前期定期試験の真っ最中ですが、昨年まではお盆明けに試験を実施していましたが、今年はお盆前に実施することで、夏休み期間は国家試験に向けた受験勉強期間に充ててもらいたいと考えています。

そして、夏休みが終われば後期開始初日10月1日に第1回実力試験を実施します。卒業生の皆さんも経験されたように、ここから国家試験モードが徐々に高まっていきます。

今年3月の国家試験は、11期生合格率78.7% (75名中59名合格) と関西地区の柔整校のなかでは中位の結果でありました。来年受験する12期生、そして残念ながら合格できていない卒業生の皆さんも来年合格を勝ち取ってほしいと思います。そのためにも、教職員一同、最後までサポートしていきます。

それと最後に、7月上旬に実施された柔道昇段試合において、3年生から3名が初段に昇段しました。これを機に昇段した人数を数えてみたのですが、アムス在学中に昇段した方は58名もおられました。これは1学年につき約5名、校友会員の人数で考えると約20名に一人、の計算になります。3年生でもまだ昇段試験を受ける方がいらっしゃるの、卒業までに黒帯になってもらいたいと思います。古い思い出話になりますが、開校2年目の途中まで学院柔道場は現在の教員室のある7階にあったんですよ…。3期生以降の方はイメージ湧かないだろうな…。

学院のちょっとした「今」を卒業生の皆さんにお伝えしようと始めたこの企画ですが、来春発行分が最後となります。残りわずかな期間ではありますが、3年生や先生方とともに全力で駆け抜けていきたいと思っています。卒業生の皆さんもお近くまで来たら是非とも学院へお立ち寄り下さい。お待ちしております。

[校友会事務局担当 豊田]



アムス柔道整復師
養成学院
校友会
an alumni association



アムス校友会通信 Vol.9 2013.8

アムス柔道整復師養成学院 校友会事務局

〒540-0028 大阪市中央区常盤町2-1-12 アムス柔道整復師養成学院内
TEL 06-6947-0800(代) FAX 06-6947-0801
HP <http://www.ams-koyukai.jp> E-mail yasushi.toyota@ams-group.jp